

第4回健康増進計画策定委員会 意見内容と修正案 〳数は、4回委員会資料の計画書素案の〳数

委員名	〳数	意見内容	修正案
菊間委員	26	＜計画の概念図＞ P2「健康増進計画の位置づけの図」と整合性を図ってほしい。(健康増進計画が大きく書いてあり、下の方におだわら TRY プランとある点について)	修正
菊間委員	22	＜基本方針－(1)生活習慣病の予防を中心とした健康づくり－＞ 高血圧性疾患対策を入れてほしい。	修正
相田委員	30	＜地域・職域・関係団体の取組＞ 「医師会、薬剤師会との連携強化」を入れてほしい。(かかりつけ薬局での調剤を受ける時の服薬指導という視点を含めて)	修正
太田委員	全体	＜【目標】の目標項目＞ 例えば、「肥満者の割合」「食塩摂取」となっているが、「肥満者の減少」「食塩摂取量の減少」の方が分かりやすいのではないかと。 ⇒国と同じような表現の仕方のほうが、よりわかりやすいというようなことであれば、国の表記に合わせると回答。	国の表記に合わせる
渡邊副委員長	42	＜【目標】食塩摂取量の目標値＞ 現実とかけ離れていると思う。今の段階では、具体性が近いうちにはほしい。	国の目標値 8 g に変更
渡邊副委員長	5	＜【目標】家庭で受動喫煙の機会を有する者の割合の目標値＞ 成人喫煙率の目標値が 12%であるが、受動喫煙の目標値は 25%である。甘すぎるのではないかと。受動喫煙の目標値は 12%未満で良いはずなので、再考を。	表記ミス 国の目標値 3% に修正
渡邊副委員長	68	＜【目標】子宮頸がん予防ワクチンの接種率＞ 平成 23 年の接種率は、本当に 73.0%もあったのか。目標値 100%はみたことがないが、100%でよいのか。 ⇒中学 1・2 年、高校 1 年と若干差がありますが、総合的に 70%以上は接種している。目標値は 100%で良いと回答	変更なし
渡邊副委員長	73	＜【目標】高血圧有病率の目標値＞ 目標値 25%の根拠はあるのか。キャンペーンをはっている割には、28%→25%というのは、柔らかすぎではないかと。 ⇒具体的に根拠をもっていないため、医師会の方に持ち帰り、確認したい。これより低い数値で出したい。(副委員長より)	
渡邊副委員長	29	＜【目標】LDL コレステロール 160 以上の割合の目標値＞ 目標値、7.7%でよい。	
渡邊副委員長	73	＜【目標】特定健康診査の受診率の目標値＞ 特定健診の受診率について厚労省が定めた年次ステップの最終値が 60%であるが、すでに最終年度となっているのか。 ⇒第 1 期計画は、今年度が最終年度であり、市町村国保は 65%となっている。しかし、第 2 期の計画では、平成 29 年度に、市町村国保 60%と国から出ているため、60%にした、と回答。	変更なし

渡邊 副委員長	75	<p>&lt;こころの健康&gt;</p> <p>こころの健康の中の自殺の項目がほとんど入っていない。自殺の項目はなんらかの形で少しでも入れたほうがよいのではないか。</p> <p><u>⇒入れる予定もあったが、とってしまった経緯もある。もう一度調整したい、と回答。</u></p>	加筆修正
市川裕之 委員	61～	<p>&lt;う歯の表記&gt;</p> <p>う歯、虫歯、う蝕と表記が混在している。う歯という表現にしてほしい。</p>	う歯（虫歯）で統一表記
市川裕之 委員	64	<p>&lt;【目標】80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の目標値&gt;</p> <p>目標が25%となっていますが、平成17年度は、24.1%、平成23年度11月の調査で、8020達成者が、33%になっている。歯周病の増加のリスクにもなるため、目標の根拠を教えてください。</p> <p><u>⇒小田原市の現状25%、H17年統計で、国の目標50%。この計画のためにとったアンケートでは、17.9%。国の目標値と同じにした、と回答。</u></p>	変更なし
市川裕之 委員	64	<p>&lt;【目標】12歳児の平均むし歯数&gt;</p> <p>何故12歳のデータが選ばれているのか知りたい。</p> <p><u>⇒12歳児も、国が永久歯、う蝕の評価指標という取扱いをしているため、と回答。</u></p>	
市川裕之 委員	64	<p>&lt;【目標】12歳児の平均むし歯数の目標値&gt;</p> <p>子どもはむし歯がない子が多いが、むし歯がある子どもは、何本もむし歯があり、平均値での格差がでている現状。取組としては、底上げをしていく必要がある。</p> <p>→細かい数値は専門の先生と相談することとする（江島委員長）</p>	現在、う歯のある子とない子の割合の統計がないため変更なし
市川裕之 委員	36	<p>&lt;【取組】&gt;</p> <p>P.32 L8に「生活習慣病と関連と報告されている」とあるが、学齢期のころから、啓発をしていけるとよいという、文言を入れてほしい。</p>	変更なし
市川裕之 委員	36,37	<p>&lt;表記&gt;</p> <p>該当ページでの再掲箇所が一部違うところがある。後で、事務局すり合わせをする。</p>	すり合わせを行う
菊間委員	27	<p>&lt;（1）脳卒中予防プロジェクト【現状】&gt;</p> <p>高血圧性疾患との記述を入れてほしい。</p>	「高血圧疾患」を入れ文章を修正
菊間委員	30	<p>&lt;【取組】乳幼児期の表記&gt;</p> <p>「正しい」食習慣・運動ではなく、「望ましい」と変えてはどうか。</p>	「望ましい」で表記
菊間委員	31	<p>&lt;【取組】早急に対応する取組&gt;</p> <p>職域との連携強化の取り組み内容に、「産業医との連携」を入れてはどうか。</p>	「産業医との連携」を追加

菊間委員	35	<p>&lt; (2) 歯科保健の推進強化 【目標】 &gt;</p> <p>「若いときから 80歳で20本の歯を持つことを目指します」を「80歳で20本の歯を持ち、何でも食べられることを…」と表記してはどうか。</p>	「80歳で20本の歯を目指します」に変更
菊間委員	36	<p>&lt; 【取組】 乳幼児期 &gt;</p> <p>「歯科健診で…すぐ受診をする」を「かかりつけ歯科医を持ち、定期的な歯科健診を受けるようにする」と表記してはどうか。</p>	「かかりつけ歯科医を持ち、定期的な歯科健診を受けるようにする」に変更
菊間委員	36	<p>&lt; 【取組】 学齢期 &gt;</p> <p>6歳から12歳は乳歯から永久歯に生え変わる時期であり、6歳臼歯は一生使う歯である。「6歳臼歯をむし歯にしない」を目標にしたらどうか。</p>	変更なし
菊間委員	36	<p>&lt; 【取組】 高齢期 &gt;</p> <p>「口腔機能の維持・向上のための、口の体操をする」を目標に入れてはどうか。</p>	変更なし
菊間委員	41	<p>&lt; (1) 栄養・食生活【現状】朝食摂取状況 &gt;</p> <p>グラフ■朝食の摂取状況</p> <p>「朝食をしている」など表記があるが、「朝食を食べている」と表記した方がわかりやすいのではないか。</p> <p>⇒全国学力・学習調査の設問を活用しており、今回の設問・回答の表記となっている。小田原市食育推進計画でも同様に表記しており、このままの形で表記していくと回答。</p>	修正なし
菊間委員	42	<p>&lt; 【目標】 塩分摂取量の目標項目 &gt;</p> <p>食塩摂取量 6g は目標としてどうかと職場内でも意見が上がっている。</p>	国の目標値 8g に変更
菊間委員	42	<p>&lt; 【目標】 毎日朝食をとる市民の目標値 &gt;</p> <p>「95%以上」を「100%に近づける」としてはどうか。</p> <p>⇒目標値については、今回の計画の目標年度は遅いが、小田原市食育推進計画と同じ値としていると回答。</p>	食育計画では、28年度までの目標 95% となっている。
菊間委員	43	<p>&lt; 【取組】 乳幼児と学齢期の表記 &gt;</p> <p>乳幼児期では「食べる習慣をつける」、学齢期では「食べる習慣を身につける」とあるが言葉を統一するとよい。</p>	「身につける」に修正
太田委員	42	<p>&lt; 【目標】 塩分摂取量の目標項目 &gt;</p> <p>国では 8g とある。国と同じでよいのでは。</p>	国の目標値 8g に変更
山本委員	42	<p>&lt; 【目標】 塩分摂取量の目標項目 &gt;</p> <p>1日の献立で、塩分 9g 以下でレシピ作成している。9g 以下に抑えた献立で味噌汁は薄くて不評。目標の 6g には驚いた。国と高血圧学会の間を取って 7g、もしくは 8g でどうか。</p>	国の目標値 8g に変更

江島 委員長	42	<【目標】塩分摂取量の目標項目> 理想的には6gだが、現実的には無理ではないか。国に合わせた目標値でどうか。	国の目標値8gに変更
渡邊 副委員長	42	<【目標】塩分摂取量の目標値> 他の目標設定もあり、小田原という観点を入れても、6gは不可能。今回の目標値としては、国の8gとするのが妥当ではないか。	国の目標値8gに変更
山本委員	36	<(2) 歯科保健の推進強化【取組】> 歯っぴー金太郎号の活用方法を教えて欲しい →市川裕之委員より回答 イベント時に活用している。現時点では、診療は不可。歯科保健のPR活動としての活用。 例) ①防災訓練：災害現場での歯科診療のデモンストラーション ②高齢者の口腔機能向上教室：歯科保健のPR	
市川裕之 委員	全体	<学校保健の対象範囲> 学校保健は、一般的には幼稚園・小学校・中学校・高校までを含む。ライフステージの取組の中に、「幼稚園との連携」についての記載を入れてはどうか。 ⇒ライフステージごとの取組は年齢で区切っている。今回は、学校を小学校、中学校と捉え考えている。幼稚園・保育園の年代に関しては、乳幼児期という区分けの中で見ていただきたいと回答。	変更なし
相田委員	61	<(6) 歯・口腔の健康 フッ化物事業について> 小田原市のフッ化物事業はどうなっているか。 →市川裕之委員より回答 小田原歯科医師会としては、今のところ取り組みとして考えていない。	
金沢委員		<資料 小田原市の健康増進計画目標項目の考え方の取扱い> 本計画の作成時の資料かどうか。 ⇒委員会のための添付資料と回答。	
金沢委員	添付 資料 1	<市町村の表記> 「市町中」「市町村」と表記が混在している。	
金沢委員	添付 資料 2	<果物摂取量の変換ミス> 文中で「果物摂取量」となっている。	
金沢委員	添付 資料 8	<がん【国の目標】 がん検診受診率の向上の目標値> 目標値の「当面」とはどのくらいの期間か。	

金沢委員	添付資料全体	<p>&lt;目標数値の書式設定と表記&gt;</p> <p>右寄せ、左寄せなど統一してはどうか。</p> <p>目標値に「以上」「以下」があるものとないものがある。統一できないか。</p>	
金沢委員	28	<p>&lt;(1)脳卒中予防プロジェクト【現状】&gt;</p> <p>グラフ■脳血管疾患死亡率の年次推移</p> <p>■脳梗塞・脳出血死亡率の年次推移</p> <p>縦軸の単位が明記されていない。また、数値は何を示しているのか。</p> <p>⇒死亡率については、衛生統計で、粗死亡率は人口千対、疾病別の死亡率は人口10万対で表している。表記について分りにくいとの指摘は受けており、用語の説明などで明記していきたいと考えていると回答。</p>	グラフの表記の修正
金沢委員	29	<p>&lt;【目標】数値の桁数の表記&gt;</p> <p>桁数はそろえた方がよい。他、グラフについても同じ。</p> <p>⇒データは国の目標値を活用している。小田原の現状が目標値とかけ離れている場合は、小田原の独自の数値を作っている。国の表記も桁は揃っていない、揃えることは難しい。</p>	グラフの表記の修正
秋山委員	3	<p>&lt;計画の期間 健康増進計画と総合計画の位置付け&gt;</p> <p>この委員会は、健康増進計画についての検討委員会であり、まず健康増進計画を掲げる形でいいのではないか。</p>	
渡邊副委員長		<p>&lt;計画の推進について&gt;</p> <p>小田原市の計画推進と合わせ、各団体が「それぞれどんな取り組みをしていくか」というところまで目を向けていくと、計画を広めやすくなるのではないか。</p> <p>「市が市民全体へ周知したところに、ゲリラ作戦のように各団体がジャンル別に取り組んでいく」というような、推進のための具体的な手法の話し合いを委員会の中で進めていけると、より効率よくできるのではないか。</p> <p>また、(脳血管疾患死亡率)県下で一番成績が悪いところから、「県下で一番を目指す」くらいの意気込みが必要。爆発力がない。医師会としても考えていきたいとは思っている。</p>	
木村委員		<p>自治会は毎月多くの回覧を行っているが、読まれていないのが現状。分りやすく、目に留まりやすい形で周知徹底が図れるとよい。結果、この会が生きる。</p>	
秋山委員		<p>健康おだわら普及員として昨年から高血圧予防に取り組んでいる。ただ、普及員だけでは限界で、これをやらなくてはいけないというわけではないが、小田原市の中の悪い部分を、少しでも良い方向に持っていく機会があることは良いことだ。</p>	

金沢委員	1	(議事録 P6) 平均寿命「世界一の水準」とあるが、香港に抜かれている。	「世界最高水準」 に変更
菊間委員	2, 3	(議事録 P6) 小田原市健康増進教室の位置づけ (TRY プランが一番上に揃える?) ケアタウン構想、小田原市地域福祉計画の中に健康増進計画が入っているようみも見える。	修正
〃	14、 18	(議事録 P6) P14 で男性の気になる病気、がん・高血圧症・糖尿病などが入っているが、「高血圧性疾患」という文言をどこかに入れた方がよい。また、糖尿病対策が熱心にされているので、これを継続するために、市民の健康課題に「糖尿病」「高血圧性疾患」がはいるとよい。	「高血圧性疾患」 を入れ説明
田中委員	全体	(議事録 P7) 「取り組み」「しくみ」「〇〇とともに」「ささえあい」「すこやかに」「みにつける」の標記を統一。	統一して修正
〃	3	(議事録 P8) 平成 34 年度は、2022 年度 「計画見直しを行います。」 → 「計画の見直しを行います。」	修正
〃	3	小田原市国民健康保険特定健康診査」市が抜けている	修正
〃	7	真ん中の健康寿命の記述について「女性の要介護期間は、男性に比べ、・・・高くなっています。」 → 「・・・長くなっています。」 が妥当ではないか。	文章を全て修正
〃	9 下から 2行目	「またや胃」や は削除	削除
〃	16	タイトルの最後、31.3 「%」を補ったほうがよい。	%をつける
〃	18 下から 16行目	「こころの健康も大切な問題です が」空欄をカット	修正
〃	18 下から 9行目	「誤嚥性」にルビを。 課題の①～③ ①と②は、現状から課題を表現している。③は活動の内容を課題化している。現状における課題なのか、取り組みの方を意識しての方がよいのか、統一をはかる。	誤嚥性肺炎 <small>ごえんせい</small> で表記
〃	19 下から 4行目	「趣味活動」というのは一般的なことばなのか?	修正なし
〃	24	「市民活動の健康課題や地域特性を明らかにし」「に」を補う	修正
〃	〃	「需要です」 → 「重要です」	修正

〃	25	「生活習慣病の予防」「の」を補う	修正
〃	26	「市民と共同した健康づくりに関する」「に」を補う	修正
西村委員		「ころ」と「心」の標記	「ころ」に修正
〃	2	矢印の大きさが大きいと、大きな役割を果たしているような感じがする。また、お互いに行き来するような部分があるので、矢印は双方に向いているような気がする。	修正
〃	4, 5	グラフの年度を表す文字の大きさを統一化。	グラフの表記の修正
〃	23、 24	(一覧票内) 学齢期のところで、「学校等関係機関」、(下から 5 行目) 教育機関、24P の左項目は「学校」すべて「学校」にそろえてはあどうか。	教育機関・学校関係機関等は「学校」に統一
〃	24	(学校の中の 3 行目)「資源」は「資質」へ。	「資質」へ修正
分部委員	18 上から 6 行目	死因は「人口対 10 万」であることを文中に入れる。	
市川委員	18 下から 14 行目	「 <u>歯肉及び歯周病疾患の課題</u> 」 →「 <u>歯肉炎及び歯周病疾患への課題</u> 」	「 <u>歯肉炎及び歯周病疾患への課題</u> 」へ修正
相田委員	24	(医療欄) 「また、薬局・薬剤師については… <u>期待されます。</u> 」既に実施しているので「期待されます」という表現はやめてほしい。	「重要な役割を果たしています」に変更
金沢委員	11	他のグラフでは、男性と女性が一緒になっているものはなく、「総数」は必要なのか？	